

施政方針

第425回 市議会定例会

3月4日

令和4年度の主要な施策のあらましを紹介します。

財政状況

令和4年度一般会計予算は、都市再生整備事業などの普通建設事業や退職手当の減などで、総額で前年度比4億9,000万円減の233億4,000万円となっていますが、一般財源総額は前年度比1億円の増となっています。

今後も、都市再生整備事業などの大型事業の実施を計画しており、公債費負担の増加が予想されることから、経常経費の節減を図るとともに、健全な財務体質の確立に向け、さらに改革に取り組んでいきます。

公共交通

令和5年度からの公共交通に関する基本計画を策定します。令和3年度に実施した現況整理およびアンケート調査による課題抽出を踏まえ、本市における公共交通の基本方針、計画目標を定め、市民の皆様にとってより利便性の高い公共交通網の実現に向け、取り組んでいきます。

デジタル・オンライン

南国市DX推進本部を設置

国は、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を誰一人取り残さない、人に優しい「デジタル化」を掲げ、国全体で「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」を推進していくこととしています。

そこで、行政のデジタル化を全庁一丸となつて進めていくため、南国市DX推進本部を設置しました。

今後は、本市のDX推進計画および成果指標を盛り込んだ実施計画を策定し、デジタル技術などの活用により住民の利便性を向上させるとともに、「デジタル人材の育成や業務の効率化を進めます。」

マイナンバーカード

2月1日現在の本市の交付率は31.7%、高知県内の交付率は34.1%、全国平均は41.8%です。引き続き普及に努めます。

オンラインによる予約受付

現在、マイナンバーカードやワクチン接種証明書の交付、おくやみ窓口についてオンライン予約受付を実施していますが、証明書発行申請についてもオンライン申請で完結する仕組み

みを構築するなど、市民の皆様の利便性向上に努めます。

国民健康保険

令和元年度以降、基金からの繰入れを行い、実質赤字決算が続いていますが、新型コロナウイルス感染症による被保険者の皆様の暮らしへの影響なども考慮し、令和4年度も、国保税の税率は変更せず運営することとして予算編成しました。

しかし、本市の被保険者数は、令和4年1月時点で1万人を下回っており、今後の国保税は、ますます厳しい運営となることが予想されます。

地籍調査

令和4年度は亀岩、岡豊町八幡および浜改田地区の3地区で一筆地調査の実施を予定しています。

ため池

農村地域防災減災事業である県営ため池事業は、植田地区神社地に続き、定林寺地区上池が完成しました。今後は、滝本地区毘沙門池および定林寺地区下池の工事、植田地区の上池および下池の詳細設計が予定されています。

介護保険

自立支援、介護予防および重度化防止の推進として、高齢者が、住み慣れた地域でできる限り在宅生活を続けていくことができるよう、短期集中予防サービスの実施を検討していきます。

市道

主要な9路線の道路新設、拡幅および舗装工事を実施するとともに、橋梁の点検業務、修繕設計および修繕工事を計画的に実施します。

上水道

福船・蔵福寺島地区の配水管布設工事を進めています。また、三島・十市地区に残る石綿管の布設替え工事と大篠水源地区からの送水管の耐震化を進めています。

農業関係

経営所得安定対策として、水田フル活用の推進に向け、高収益作物の導入等による収益力強化や畑地化を含む水田の有効利用など、産地としての課題と対応方針を明確化し、「水田収益力強化ビジョン」として需要に応じた生産と特色ある産地づくりの推進を図ります。

国営ほ場整備

換地計画原案に対する地権者の皆様の同意が整いました。久枝工区、下島工区および能間工区の3工区で工事に着手します。

営農の取組として、能間工区に計画しているハウス園芸団地への参入事業者の公募を行っています。

土地利用型農業の推進として、本市南部地域において以前から生産され機械化が進んでいるキャベツに加え、市場ニーズの高いサツマイモやカボチャを新たな有望品目として試験栽培を開始します。

篠原土地区画整理

現在工事中である第4工区を完成させ、地権者に土地を引き渡し使用収益の開始を行います。最後の第5工区も工事に着手する予定であり、補償交渉及び発注業務を進め、令和5年度の完成を目指します。

都市計画

JR後免駅の駅前広場整備は、地権者の移転計画なども考慮しながら、用地交渉を進めていきます。

防災

震災訓練

出水期前の水防訓練や、11月には南海トラフ地震を想定した震災訓練を計画しています。これまで行ってきた訓練に加え、新たな訓練内容も盛り込み、迅速かつ的確に緊急事態に対処できるよう努めていきます。

防災士養成講座

地域防災の一翼を担う自主防災組織の活動を支援し、若い世代が地域を守ろうとする意識の醸成を目的として、小・中学生を対象とした防災士養成講座を開催します。故郷の安全・安心を願う「将来の地域防災リーダー」の育成に力を注ぎ、災害に強いまちづくりを推進していきます。

住宅耐震化促進

引き続き、南海トラフ地震による倒壊の恐れがある住宅の耐震化を進めるとともに、緊急輸送道路や避難道路沿いにある倒壊などの危険性が高いコンクリートブロック塀などの撤去および改修、市内全域を対象とした老朽木造住宅の除却への助成を実施し、市民の皆様が安全で安心して暮らせる生活環境づくりを推進していきます。

地域福祉

令和4年度から5力年で取り組む第3次南国市地域福祉計画を策定します。市民アンケートなどをもとに、本市における課題の再整理を行い、より実践的な活動へとつなげるため、地域福祉計画と地域福祉活動計画の両計画を一体的に策定しており、多様な実施主体と連携・協働することにより地域福祉の向上に努めます。

窓口業務の委託

令和3年度から市民課のすべての窓口業務を委託しており、窓口サービスを安定的に提供できるようになってきました。今後も効果を検証し、より一層のサービスの向上に努めます。

消防体制の充実

震災時に備え、耐震性防火水槽の整備を進めています。また、大規模災害時の緊急消防援助隊受入体制の強化のため、関係機関との合同訓練および受援に向けた取組を進めていきます。

消防団の北部分団国府班および岡豊分団八幡班に消防ポンプ自動車の更新を予定しています。

教育

「これからの南国市の教育・保育を考える会」の答申をもとに、南国市の中長期教育総合計画を策定します。

新規事業として、「ゆるやかな学期スタート研究指定校事業」を立ち上げるなど、本市の教育課題の解消に向けた教育課程の編成などについて調査研究を行います。

日章小学校のエレベーター棟増築や岡豊小学校のプール改修などに取り組みます。

子育て支援

長岡西部保育所において、4月から新たに0歳児の入所募集を始め、6月から保育を開始する予定です。

生涯学習

地域交流センターは、4月の開館後も、引き続き、外構工事および敷地外駐車場の整備などを並行して行います。

岡豊ふれあい館の非構造部材耐震化、比江スポーツグラウンドの排水改修を行います。図書館整備は、現在、高知県に対して事業認定申請などの手続を行っており、認定に基づき用地取得および移転補償を進めていきます。

令和4年度の課・係名		主な業務の内容	変更内容
総務課	じんけん係	人権に関すること 人権擁護委員に関すること 男女共同参画に関すること	※係の新設 事務所は、中央市民館内 (幸町3丁目1番3号 ☎ 864-0160)
	生涯学習係	生涯学習に関すること 公民館その他社会教育施設に関すること 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会等の開催及びその奨励に関すること など	※係名の変更(旧:生涯学習人権係) 事務所は、市役所本庁舎3Fから 南国市地域交流センター内へ移転 (大桶甲2117番地 ☎ 878-6070)

機構改革

令和4年度機構改革により、4月から市役所の組織の一部を見直し、係の新設および係名変更、事務所の移転を行いました。